12/4 神戸新聞 朝刊 スポーツ面

神戸大が3連覇 武庫川女大破る

タッチフット

女子東西大学王座決定戦

女子タッチフットボールの東西大学王座決定戦「プリンセスボウル」は3日、神戸市灘区の王子スタジアムであり、兵庫勢対決となった決勝は、昨季全日本王者の神戸大（西日本1位）が武庫川女大（西日本2位）を28－25で下し、3年連続9度目の栄冠を手にした。

▽1回戦　武庫川女大（西日本2位）27－6成城大（東日本1位）、神戸大（西日本1位）39－0慶大（東日本2位）▽3位決定戦　成城大20－0慶大

▽決勝

神戸大 28（14－6、7－6、7－13、0－0）25 武庫川女大

▽最優秀選手　熊沢陽香（神戸大）▽ベスト6（攻撃）　山本真穂（神戸大）山川真季、青山沙樹、中田涼香（以上武庫川女大）中沢奏子（成城大）辻彩子（慶大）▽同（守備）　北勝千明、佐々木芹菜、北山菜生（以上神戸大）竜門千夏（武庫川女大）佐々木麻里（成城大）牛之浜静香（慶大）

神戸大は来年1月3日に東京ドームで開かれる日本選手権「さくらボウル」で社会人王者と対戦する。

決勝で神戸大は、4点を追う第4クオーター残り1分、QB山本からWR熊沢への26ヤタッチダウン（TD）パスで決勝点を挙げた。武庫川女大はQB永福からのパスで3度逆転する粘りを見せたが、及ばなかった。

最後に甘さあった

武庫川女大・中田涼香主将（3年ぶりの王座返り咲きならず）「神戸大のラン攻撃などへの対策はかなりしてきた。春にあった大きな差を詰めることはできたが、最後の最後に甘さがあった。日本一を目指し、全員で戦えたことは誇りに思う」

決勝・神戸大－武庫川女大　第2クオーター、先制のタッチダウンパスを捕球した熊沢（左から3人目）に駆け寄る神戸大の選手たち

山本が土壇場 逆転TDパス

神戸大

決勝で8年連続の顔合わせとなったライバル対決は、逆転に次ぐ逆転となった。残り1分27秒の武庫川女大のTDで勝負あったかに見えたが、「諦めていなかった」と神戸大のQB山本。逆転TDパスは圧巻だった。パスを警戒する相手に本来のターゲットを封じられたが走って時間を稼ぎ、エースWR熊沢がフリーになったところを見逃さずに投げ込んだ。

昨季は正QBの負傷離脱を受け、この大会の1カ月前にWRから急きょ転向。持ち味の走力を生かし、相手をかき乱すプレーで代役を務めた。4年生の今季はパス能力が向上し、真の司令塔に成長。「去年は先行逃げ切りしかできなかったけど、成長できた」と喜びをかみしめた。

山本や熊沢、北山主将ら昨季の主力の多くが残り、大舞台の経験も十分。3年連続の日本一を懸けた「さくらボウル」へ、北山主将は「前回のような同点優勝ではなく、圧倒的な差をつけられるよう準備する」と意気込んだ。

（永見将人）